

○ 京都スタジアム(仮称)運営権PFI導入可能性調査業務に係る公募型プロポーザル方式評価基準

評価資料	評価項目	評価内容		配点	
参加 表明書	業務実施面	業務実績	事務所等において本業務と同種・類似業務の実績があるかどうか。	8点	
			管理技術者	資格や経験年数があるかどうか。	2点
				業務実績があるかどうか。	3点
		主任技術者	手持ち業務との重なり程度(繁忙度)はどうか	1点	
		業務実施体制	提案内容を実施できる人員が確保されているか。	3点	
				提案内容を実施できる社外の協力が確保されているか。	1点
	府内企業		京都府内に、本店、支店又は営業所等を有する者であること。	府内に本店がある 府内に支店、営業所等がある 上記以外	3点 2点 1点
	小 計				25点
	技術 提案書	業務実施方針等	提案内容の的確性	仕様書を的確に踏まえ、明確かつ具体的に提案されているか。	5点
				事業を効果的・効率的に実施するための提案がされているか。	5点
提案内容の実現性			実施方法等が具体的で、実現性があるか。	5点	
事業への理解・知識		事業内容及び目的に関する理解・知識が十分にあるかどうか。	5点		
提案項目① 立地エリアの特性を踏まえ、京都スタジアム(仮称)の収益性を向上させるための複合機能化(方向性などの提案を含む)などに関する意見		的確性	意見内容について、データに基づいた論理的な説明がなされているか。	5点	
		実現性	提案事業者が有する収益を向上させるための知見を反映した、具体的でかつ実現可能な提案内容となっているか。	5点	
		独創性	複合機能化について、話題性のある企画内容になっているか。	5点	
		提案項目② 京都スタジアム(仮称)において「公共施設等運営権」制度を導入する場合の留意事項	的確性	提案内容について、知見に基づいた論理的な説明がなされているか。	5点
			実現性	提案事業者が同種・類似業務に関する知見を反映した、具体的な提案内容となっているか。	5点
			独創性	提案事業者のノウハウや知識・経験を活かした着眼点がみられ、具体的な提案内容となっているか。	5点
提案項目③ ①②を踏まえた京都スタジアム(仮称)に適した運営事業者の考え方や意見	的確性	大規模スポーツ施設を基本とした具体的な考え方や意見がされているか。	5点		
	実現性	最適な運営事業者が導き出せる具体的な考え方や意見がされているか。	5点		
	独創性	提案事業者のノウハウや知識・経験を活かした考え方や意見がされているか。	5点		
小 計				65点	
価格点	満点(10点) × (提案価格のうち最低価格/自社の提案価格)			10点	
小 計				10点	
合 計				100点	

京都スタジアム(仮称)運営権PFI事業導入可能性調査業務 に係る公募型プロポーザル方式における 評価基準の各評価項目の評価方法と評価点の計算方法

共通事項

1 失格(無効)の判断

提案を失格(無効)とする場合は、募集要領に記載している提出物の応募条件への違反等、次の諸点を勘案して、外部有識者の意見を聴取した上で、京都府が決定する。

- (1) 募集要領の応募資格のいずれかが満たされなくなったとき
- (2) 提出書類の内容に虚偽の申告があった場合
- (3) 外部有識者や選定会議の構成員等に働きかけ、審査の結果に影響力を行使しようとした場合
- (4) これらと同等と認められる不適当な行為があった場合

2 配点について

- (1) 業務実施方針等及び提案課題に係る評価項目については、外部有識者がア、イ、ウ、エ、オの評価を行う。
- (2) 客観的評価の各評価事項については、スポーツ施設整備課によってあらかじめ段階評価による評価点の換算又は評価点の積み上げにより評価を行う。
- (3) 評価点の計算は、各項目の配点×評価係数とする。
- (4) 外部有識者による段階評価点数は、以下の通りとする。

ア 特に優れている	5
イ 優れている	4
ウ 普通	3
エ やや劣っている	2
オ 劣っている	1

参加表明書に関する評価

1 業務実施面

(1) 事務所等の業務実績

事務所の業務実績については、実績毎に表の評価事項により評価する。

評価点 = 実績 1 件毎の基準配点 (0.8 点) × 同種・類似係数を 10 件合算

区分	内容	係数
同種	コンセッション事業の導入可能性調査やアドバイザー業務など	1.0
類似	上記以外	0.6

(2) 配置技術者の業務実績

管理技術者の能力を、資格・経験、業務実績、繁忙度で評価する。主任技術者の能力を業務実績、繁忙度で評価する。

ア 資格・経験

資格係数に経験年数を乗じた資格・経験係数で評価する。

評価点 = 基準配点 (2 点) × 資格・経験係数
資格・経験係数 = 資格係数 × 経験年数係数

資格	係数
公認会計士、税理士、一級建築士、技術士(都市計画)	1.0
その他資格	0.8
資格無し	0.6

経験年数他	係数
18.0~	1.0
15.0~17.9	0.8
~14.9又は資格無し	0.6

イ 業務実績

技術者の業務実績の内容から、表の評価事項により評価する。

評価点 = 実績 1 件毎の基準配点 (0.6 点) × 同種・類似係数を 5 件合算

区分	内容	係数
同種	コンセッション事業の導入可能性調査やアドバイザー業務など	1.0
類似	上記以外	0.6

ウ 繁忙度

手持ち業務と本件業務との重なり程度を評価する。

$$\text{評価点} = \text{基準配点 (1点)} \times \text{繁忙度係数}$$

繁忙度	係数
委託期間中を通して手持ち業務との重なりがない。	1.0
手持ち業務と重なりが一時ある(委託期間のうち60%未満)が、程度から判断して業務遂行が可能。	0.8
委託期間中を通して手持ち業務との重なりがある(委託期間のうち60%以上)。	0.6

(3) 業務実施体制

業務実績に応じた担当技術者の配置人数を評価する。

$$\text{評価点} = \text{基準配点 (3点)} \times \text{配置人数係数}$$

配置人数	係数
同種又は類似業務の実績が2件以上ある担当技術者が2名以上	1.0
同種又は類似業務の実績がある担当術者が2名以上	0.8
同種又は類似業務の実績がある担当術者が1名以上	0.6
同種又は類似業務の実績がある担当術者がいない	0.4

業務実績に応じた社外の協力について、評価する。

$$\text{評価点} = \text{基準配点 (1点)} \times \text{連携実績係数}$$

連携実績	係数
同種又は類似業務の連携実績がある又は社外に協力を得ない	1.0
同種又は類似業務の連携実績がない	0.4

2 府内企業

本店等の所在地について、以下のとおり評価する。

府内に本店がある場合	=	3点
府内に支店、営業所等がある場合	=	2点
上記以外	=	1点

技術提案書に関する評価

1 実施方針等及び提案課題に対する評価（外部有識者が評価）

実施方針等及び提案課題に対するプレゼンテーション及びヒアリングの結果を踏まえ、評価する。

評価事項	評価点				
	ア (5点)	イ (4点)	ウ (3点)	エ (2点)	オ (1点)
的確性	特に優れている	優れている	普通	やや劣っている	劣っている
実現性					
独創性					
理解・知識					

2 価格点

提案価格として、委託業務参考見積価格について評価する。

※提案価格のうち最低価格を満点として評価する。

価格点 = 満点 × (提案価格のうち最低価格 / 自社の提案価格)